

# 平成29年度 ひこね生涯カレッジ

「ひこね生涯カレッジ」は地域をひとつのキャンパスにして、様々な学習機関と連携し、公共施設などで日常的な学習を行い、続いて高等学校での体験的な学習、まとめて大学などでの理論的な学習を組み合わせたプログラムになっています。

学習テーマ

## 学ぶ力は「生かす」

～歴史・文化・健康を主体的に学び、自分らしい生き方を発揮できるようにしよう～

また、班活動にも力を入れ、講座を通して学びの共有や一体感が感じられるプログラムになっています。

学びの成果を発揮いただけるよう支援するのも、本講座の特徴です。今年度は、講座のまとめにグループディスカッションを行い、カレッジでの学びをさらに深め、地域・家庭へ発信するきっかけになるよう努めます。



○講座期間：平成29年6月10日（土）～10月28日（土）

- ・問題発見講座：6月10日（土）～ 7月 8日（土）
- ・実験・実習講座：7月22日（土）～ 8月26日（土）
- ・理論・実践講座：9月 2日（土）～10月28日（土）

## 問題発見講座

| 講座  | 日時                     | テーマ  | 講師                           |
|-----|------------------------|--|------------------------------|
| 第1講 | 6月10日(土)<br>9:30~11:30 | 開講式 オリエンテーション<br>ニュースポーツを体験!                   | 生涯カレッジ・ニュー・スポーツ・サークル(NSC)    |
| 第2講 | 6月17日(土)<br>9:30~11:30 | ぶらひこね<br>~古地図で歩く町人と足軽の城下町~                     | まち遺産ネットひこね<br>鈴木 達也          |
| 第3講 | 6月24日(土)<br>9:30~11:30 | 湖東の地を走って120年<br>~これからも、地域とともに!~                | 近江鉄道株式会社<br>鉄道運輸課 宮崎 直也      |
| 第4講 | 7月1日(土)<br>9:30~12:00  | あなたの心臓を元気に保つために<br>してほしいこと<br>~虚血性心疾患を予防しましょう~ | 彦根市健康推進課 関谷幸子<br>管理栄養士 山方 真弓 |
| 第5講 | 7月8日(土)<br>9:30~11:30  | 稲部遺跡が語る邪馬台国の時代<br>~稲部遺跡と荒神山古墳~                 | 彦根市教育委員会文化財課<br>学芸員 戸塚 洋輔    |

### 第1講 開講式 ニュースポーツ体験! ~心とからだの保健室~ (会場: グリーンピアひこね)

開講式、オリエンテーションの後、「NSC(生涯カレッジ・ニュー・スポーツ・サークル)」のみなさんに「ニュースポーツ体験! ~仲間とともに心と体をリフレッシュ~」をしていただきました。

「NSC」は、「淡海生涯カレッジ彦根校」で「健康」をテーマにしていた平成17年に始まり、講座をきっかけにカレッジ卒業生等が参加するサークルで、「学習成果の発揮の場」として活発に活動されています。

講座では、「囲碁ボール」、「スローイングビンゴ」、「カロリング」の3つのニュースポーツを体験しました。班ごとにチームとなり対戦しました。初めて出会った方々でチームを作るため、最初は、作戦がまとまらないチームもありましたが、3種目にチャレンジする中で、自然と「ふれ合う場」ができ、予想以上に受講生同士の会話がはずみました。「共通の目標を持って取り組むこと」や「ともに汗を流すこと」が、つながりを深める大きな力になることを改めてみんなが実感しました。

また、「NSC」のみなさんの姿は、「健康」という視点に加え、「学習成果の発揮」という視点からも受講生のお手本となる姿で、大きな学びとなりました。



◎感想より：童心を思い出し、老心を若がえらせる良薬、良き哉。  
：緊張、ワクワク、遊びの楽しさを久しぶりに味わい、  
童心に返れました。  
：気持ちがハイになり、元気になりました。

## 第2講 ぶらひこね～古地図で歩く町人と足軽の城下町～（会場：旧広田家（納屋七）住宅）

第2講は、旧広田家（納屋七）住宅とその周辺の城下町跡を会場に、「まち遺産ネットひこね」の鈴木達也さんから、「ぶらひこね～古地図で歩く町人と足軽の城下町～」のテーマのもと、講話を聞きフィールドワークしました。

講話では、「御城下惣絵図」から三重の堀（内堀・中堀・外堀）ごとに町の景観や特徴の違いがあることや、現在の地図との違いについて班で話し合いながら学びました。

その後、城下町跡のフィールドワークに向かいました。昔外堀であった昭和新道を挟み、町人と足軽の町並みの違いに大変驚きました。また、何百年も当時の区画や建物が残っている町並みに、当時の面影を大切にしようとする地域の方々の思いにも強く心を打たれました。



◎感想より：彦根の歴史の一端を学習でき、大変楽しく有意義でした。ぶらひこねに参加したいです。

：歴史は苦手でしたが、好きになりました。また歩いてみたいと思います。

：懐かしい町、初めて歩いた道また色々歴史話を伺いながらの新鮮な時間でした。



## 第3講 「湖東の地を走って120年～これからも地域とともに！～」（講話と見学）

（会場：近江鉄道ミュージアム）

第3講は、はじめに「湖東の地を走って120年～これからも地域とともに！～」と題し、近江鉄道株式会社運輸課係長宮崎直也さんから講話いただきました。

近江鉄道株式会社120年の歴史や、彦根とのつながりについてわかりやすく説明いただきました。また、近江鉄道が停車する各駅の特徴や秘話もお話いただきました。

その後、近江鉄道ミュージアムへ移動し、貴重な品々をお見せいただきました。当時の看板を見て、昔を懐かしむ受講生の姿が印象に残りました。また、線路の上を歩く貴重な体験をしました。電車や線路を間近に見て、改めて日本のものづくりのすばらしさを実感しました。



◎感想より：鳥居本に住んでいる私にとっては、子どもたちが通学に利用させてもらっていた「ガチャコン」は親しんできた路線。ご苦労と工夫があり楽しませてもらった。



：自宅のすぐ近くをガタゴト走る近江鉄道はノスタルジックで今後もずっと存続してほしい。

：存在は知っていたものの、訪れるのははじめて。昔から利用する近江鉄道、地域の足でガタンゴトン走る車両に懐かしめるのはいつまで？いつまでも。

#### 第4講 「あなたの心臓を元気に保つために知ってほしいこと～虚血性心疾患を予防しましょう～」

(講話と試食) (会場：南地区公民館)

第4講は、はじめに「虚血性心疾患を予防しよう」と題し、彦根市健康推進課保健師の関谷幸子さんから講話いただきました。

血管を守ることの大切さや市民の健康状況、生活習慣病を生活の改善で防ぐ方法等についてスライドを使い、クイズも交えながら分かりやすく説明いただきました。



次に、管理栄養士の山方真弓さんから、「普段の食事から栄養バランスを確認してみよう！」ということで、バランスカードを使い、夕食の献立を組み立て、含まれるカロリーや塩分量を確認しました。普段の夕食で想像以上に摂取していることに驚きました。

その後、カロリーや塩分を控えた「健康弁当」の試食をしました。塩分が控えめでも、食材そのものが持つ味を生かした調理をすることでおいしくいただけることを再認識しました。

長く健康に過ごすためには、食事と運動のバランスも大切ですが、ストレスをためないことも大切であると学びました。

◎感想より：自分の食生活を見直す、いい機会になりました。塩分を控えることは日頃の意識の積み重ねだと思うので、家族のためにも心がけて薄味にします。



：普段から気をつけて食事の用意をしていますが、知らず知らずの内に多量の塩分、カロリーを取っていることを知らされました。今まで以上に気をつけたいです。



## 第5講 稲部遺跡が語る邪馬台国の時代～稲部遺跡と荒神山古墳～（会場：稲部遺跡・曾根沼）

問題発見講座の最終講は、「稲部遺跡が語る邪馬台国の時代」と題し、現地研修を行いました。

稲枝地区公民館で、遺跡や発掘調査について文化財課の戸塚さんに講義をしていただきました。稲部遺跡の概要や歴史また荒神山古墳との関係性を教えていただきました。現地研修では、稲部遺跡の歴史的な価値の高さから、離れた場所での研修となりましたが、稲部遺跡の規模や近辺の風景から大きな集落であったことがわかりました。また、近隣にある荒神山古墳の立地の良さから、埋葬された方がいかに高貴な方であったか想像でき、稲部遺跡に大きな国があったかもしれないということを現在調査中であると聞き、まだ知られていない彦根の歴史にロマンを感じました。



◎感想より：今回は本当に楽しみに受講しました。私も毎日荒神山の山頂まで、ウォーキングしているので古墳など見に行き興味があったので本当に良かったです。

：うぐいすの鳴くみどりの中、初めての角度で古墳を視ることが出来、古きロマンに浸れた一時でした。

：大規模な遺跡を調査されているが、完全に調査されれば、もう一度見学にきたい。



### ・実験・実習講座

（会場：滋賀県立彦根翔西館高等学校）

| 講座  | 日時                     | テーマ                   | 講師                     |
|-----|------------------------|-----------------------|------------------------|
| 第1講 | 7月22日（土）<br>9：30～11：30 | 暑中見舞い作成講座             | 滋賀県立彦根翔西館高等学校<br>商業科教員 |
| 第2講 | 7月29日（土）<br>9：30～11：30 | 声に出して読む源氏物語           | 滋賀県立彦根翔西館高等学校<br>国語科教員 |
| 第3講 | 8月19日（土）<br>9：30～11：30 | 古武道に親しもう              | 滋賀県立彦根翔西館高等学校<br>社会科教員 |
| 第4講 | 8月26日（土）<br>9：30～11：30 | Let's enjoy English!! | 滋賀県立彦根翔西館高等学校<br>英語科教員 |

## 第1講 暑中見舞い作成講座

（会場：情報処理室2A）

第1講は、「暑中見舞い作成講座」をテーマに商業科教員のみなさんに教えていただきました。ワード（Word）のはがき文面印刷ウィザードを使い、文面の作成をしました。レイアウトや文面を既存のものから組合せ、受講生オリジナルの暑中見舞いを作成しました。パソコンが自分たちの思ったように動いてくれず四苦八苦しましたが、きれいに印刷できた暑中見舞いにみなさん安堵の笑顔でした。



◎感想より：年賀状は印刷していたので、自信があったが、1, 2点知らない部分を教えてもらった。今後ベターな手紙が出せる。  
：しばらく使ってないと忘れてしまいがちなので、思い出せて良かったです。もう少し長い時間何回かしてほしいです。  
：はじめてパソコンをしました。難しいですね。暑中見舞いのハガキ、私の宝物にします。



## 第2講 声に出して読む源氏物語

(会場：セミナーハウス)

第2講は、「声に出して読む源氏物語～音読の効果について～」をテーマに、国語科の外部講師をされている『むらさきの語り』主宰 今井 友子さんにご講義いただきました。

最初に、今井先生がアナウンサーになるまでの苦労話や源氏物語の世界に没頭された経緯をお話いただきました。次に、朗読の基本となる腹式呼吸・発声練習をしました。受講生1人1人に丁寧にレクチャーしていただきました。また、アナウンサーになるまでにこの発声練習を毎日2時間されていたと聞いて、アナウンサーという仕事の大変さを知りました。

最後に、源氏物語夕顔の朗読をしていただきました。原文で聴いても、情景や季節感が思い浮かび、古文の世界に浸るひとときでした。「音読の良さは、一文字一文字を飛ばさないため原文の美しさがよくわかる」ということもおっしゃられ、印象に残りました。

◎感想より：普段話すことに注目していないことを痛感！！声に出すことで、体が熱くなり、表情もよくなり、とても気持ちよくなりました。

：先生の心地よい会話でスタート。日頃の会話の中にも母音の大切さを意識したいと思います。源氏物語、これを機に音読（情景を浮かべながら）楽しんでみます。

：すてきな声で、源氏物語もっと聴きたかったです。音読でははじめてでしたが、基本の朗読もはじめてで楽しい経験でした。声をだすとスカッとするし、集中できました。孫に絵本を読んでいるため、滑舌忘れないようにしたいです。



## 第3講 古武道に親しもう

(会場：武道場)

第3講は、「古武道に親しもう」をテーマに社会科教員のみなさんに講話・実技をしていただきました。

最初に古武道の歴史について学びました。弥生時代から現代に至るまでの日本の歴史の中で、古武道がどのように発展し広まっていたかを知りました。実技では武道場で棒術を教えてくださいました。約180cmもある棒は迫力があり驚きました。構えの型を教えてくださいましたら、先生方による実演もあり、古武道の世界の奥の深さにより引き込まれました。



◎感想より：幅広くうまくまとめられた講義は大変おもしろく、  
 実技ははじめてのことを体験してよかった。  
 : 久しぶりの社会科の授業を受けて楽しかった。私は、  
 社会歴史は好きなので、学生に戻ったよう  
 うれしかった！！実技もかっこよかった。  
 : 高校以来武道には縁がありませんでしたが、今日  
 歴史とともに良い勉強ができました。



#### 第4講 Let' s enjoy English!

(会場：セミナーハウス)

実験・実習講座最終講の第4講は、「Let' s enjoy English!」  
 をテーマに英語科教員のみなさんに講義していただきました。

最初に、ネイティブな英語の発音をカタカナから学びました。  
 「I come in early summer」が「カミナリサマ」に聞こえるなど  
 楽しい例から学びました。次に、英語で彦根市内の道案内に  
 チャレンジしました。わかっているのに、言葉で伝えられない  
 もどかしさにやきもきしながら、班で協力し課題を解決しまし  
 た。最後に、「となりのトトロ」の英語版で聞き取り練習をし  
 ました。久々の本格的な英語の学習に改めて英語の難しさを痛感  
 しましたが、学生時代の気持ちを思い出しながら先生と和気あい  
 あいと楽しい時間を過ごしました。



◎感想より：我々の時代と違った発音、教育技法等エンジョイ  
 しながら有意義でした。  
 : 本当に英語と聞くと身がすくみます。でも、英会  
 話は話せたらどんなにいいかって思いはいっぱい。  
 楽しく緊張しながら過ごせました。  
 : 勉強不足の所に半世紀昔の堅い頭を取り戻すの  
 に、大変でしたが、とても楽しかった。



#### ・理論・実践講座

| 講座  | 日時                     | テーマ                          | 講師                        |
|-----|------------------------|------------------------------|---------------------------|
| 第1講 | 9月2日(土)<br>9:30~11:30  | 空間の再生:ストック活用時代の建築・都市デザインの可能性 | 滋賀県立大学 環境科学部<br>准教授 白井 宏昌 |
| 第2講 | 9月9日(土)<br>9:30~11:30  | 直弼の「茶と心」                     | 石州流茶道彦根一会流 講師             |
| 第3講 | 9月23日(土)<br>9:30~11:30 | 「地域で暮らす」を支える在宅看護             | 滋賀県立大学 人間看護学部<br>助教 森本 安紀 |
| 第4講 | 9月30日(土)<br>9:30~11:30 | 彦根絵はがきの中を旅する                 | 滋賀県立大学 人間文化学部<br>教授 細馬 宏通 |

|     |                         |                            |                        |
|-----|-------------------------|----------------------------|------------------------|
| 第5講 | 10月21日(土)<br>9:30~11:30 | グループディスカッション「私たちができる地域づくり」 | 彦根市教育委員会<br>生涯学習課 課員   |
| 第6講 | 10月28日(土)<br>9:30~11:30 | 学習発表・まとめ・閉講式               | 滋賀県立大学<br>理事・副学長 倉茂 好匡 |

## 第1講 空間の再生：ストック活用時代の建築・都市デザインの可能性（会場：滋賀県立大学）

理論・実践講座の第1講は、環境科学部 白井准教授に講話いただきました。まず理論編として、今日本は高度成長期の人口増加から大きく人口が減少し、建築に関する考え方が変化していることを学びました。新しい建物を建てるのではなく、使われていない建物に付加価値を付ける「建てない建築家」という言葉が印象に残りました。

次に実践編として、白井先生が実践されていることを紹介いただきました。その中で、家具や壁などの色を変えるペイントリノベーションは、ビフォーアフターの印象が大きく変わることに驚きました。低予算で高い効果があり、すぐに地域に生かせる手段の1つとして受講生は興味津々でした。



◎感想より：あっという間に2時間経ちました。築90年の古家に住んでいます。今回の講義でペイントリノベーションを考えてみようと思うようになりました。

：県大の講義は難しいと思っていたが、夢のあるリノベーション。わかりやすく、楽しい興味深かった。先生の話し方もわかりやすく、すてきな講義でした。

：ゼネコンに在職していたので大変興味深く拝聴いたしました。我が区域も増えつつある空き家対策の一つの手段になる内容でとてもよかった。建築のすばらしさを再確認できました。



## 第2講 直弼の「茶と心」

（会場：彦根城博物館）

理論学習講座の第2講は、毎年好評の直弼の「茶と心」です。はじめに、直弼の生い立ちや、茶道が広く知られるようになった経緯なども含めて、詳しく講話いただきました。また、直弼が大事にした「一期一会」、「独座観念」といった茶の心は、今も「おもてなしの心」として引き継がれていることを学びました。次に、一会流のお点前を披露していただきました。所作一つ一つを解説しながら、お茶を点てていただきました。



彦根城博物館の一室で点てていただくお茶は、歴史の味が加わり、おいしく感じました。

- ◎感想より：直弼の茶の心。お茶をいただきながら思い返すと偉大な教えが心にしみこみます。
- ：毎回先生の熱弁は興味深く、去年は高源寺にも行ってきました。今年は晩秋の頃28日大徳寺にぜひ改めていきます。
- ：“茶の心” ご丁寧なわかりやすい説明、お茶のおもてなしありがとうございました。全て、心の修行、自分を見つめる時間を大切にしたいです。



### 第3講 「地域で暮らす」を支える在宅看護

(会場：滋賀県立大学)

第3講は、人間看護学科 森本助教に講話いただきました。はじめに、先生の専門とされる在宅看護について講話いただきました。在宅看護は、本人だけではなく、家族に対しても看護を提供し、保健・医療・福祉のあらゆる面から生活の質(QOL: quality of life)を高めることも大切な仕事であると学びました。



次に、認知症について実際の事例を用いて、グループディスカッションを行いました。KJ法という付箋を使った手法で話し合いを進めました。本人・家族・まわりの立場から、どういったことができたのか、また、どのようなことに注意すべきだったのかなどを考え、最後に班ごとに話し合った内容を発表し交流しました。どの班も自分たちの経験を踏まえた意見が発表され、有意義な時間になりました。



◎感想より：現在自分の母の介護に直面しているところなので、とても力強い参考になりました。感謝。自分だけで解決しようとせず、互助、共助で進んでいこうと思います。

：生涯カレッジで介護の講座をされることは希望の一つでした。認知症の話は日頃から全く経験のないことで、考えさせられることがありました。

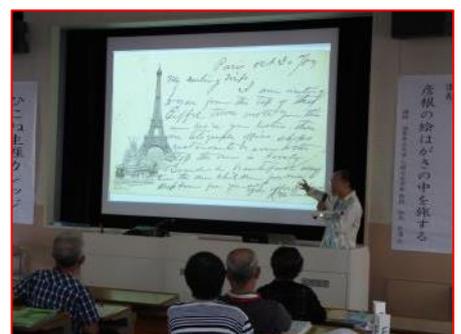
：KJ法を使ったまとめは、わかりやすかった。

### 第4講 彦根絵はがきの中を旅する

(会場：滋賀県立大学)

第4講は、「彦根絵はがきの中を旅する」をテーマに人間文化学部細馬教授に講話いただきました。はじめに、絵はがきの歴史についてお話しいただきました。絵はがきがブームになったきっかけが日露戦争だったことに驚きました。

次に、絵はがきの内容から読み取れる時代背景や当時の様子について解説していただきました。当時の彦根をモチーフにした絵はがきからは、現在との共通点や相違点が見られ時代の変



化を感じることができました。また、海外の絵はがきもご紹介いただき、特に当時の外国人の日本のイメージには、思わず吹き出してしまいました。

- ◎感想より：はがきは単に通信手段と考えていたが、昔から絵はがきがあり、貴重な歴史の伝承手段になり驚いた。
- ：彦根に生まれて70年。絵はがきから最新の彦根と比較ができて、知らなかった彦根の発見ができました。
  - ：絵はがきの見方の楽しさを学ばせていただきました。絵はがきが日本に誕生した当時の絵はがきは興味深かった。彦根の玄宮園周辺付近の変遷がおもしろかった。



### 第5講 グループディスカッション「私たちができる地域づくり」 (会場：旭森地区公民館)

第5講は、今年度の学習のまとめの場として、「私たちができる（公民館を利用した）地域づくり」をテーマにグループディスカッションを行いました。第3講で学んだ、KJ法で付箋を使って話し合いを進めました。みなさん自分の経験をふまえ、それぞれの観点から意見を出し合い、活発な意見交流ができました。次に、発表会を行いました。どの班も熱のこもった発表で、カレッジでの学びがより深いものになりました。



- ◎感想より：視点のとらまえ方がそれぞれあって、勉強になりました。人との交流が大切だと思いました。
- ：私の班では地域の活性化がメインテーマになりました。他の班の方も含め本当によく考えておられ感心しました。
  - ：今回のカレッジは最初からずっと同じ班なので、こういうディスカッションするにあたりとても仲良く意見が出し合えた。楽しくまとめられました。

## 第6講 学習発表会・まとめ（講評）・閉講式

（会場：南地区公民館）

学習発表会では、受講生一人ひとりから、カレッジでの学習について学びやその成果の活用、感想について発表しました。

その後、実行委員長の滋賀県立大学倉茂理事・副学長より講評・講話をいただきました。講話では、県立大学にきている留学生のお話から、彦根の観光・町おこしのこれからについて示唆していただきました。



修了証書授与式では、受講生を代表して皆出席の3名に修了証書を受け取っていただきました。その後の茶話会では、和やかな雰囲気の中会話もはずみ、今までの労のねぎらいや地域での活動の展望について語り合いました。

最後に、約5カ月間、合計15回にわたり熱心に学ばれた受講生のみなさん、お手伝いいただいたオブザーバーのみなさんすてきな出会いをありがとうございました。

